



自衛隊栃木地方協力本部

全日本短剣道大会で2つの準優勝を獲得

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶1陸佐）は2月12日、日本武道館において開催された第22回全日本短剣道大会に、選手として総務課所属の佐々木2曹を派遣した。

佐々木2曹は平成31年から短剣道を始め、課外や土日を利用して高校生等と練習に励んでいる。試合当日は選手代表として選手宣誓を行い、個人戦と団体戦に臨んだ。

目標は「入賞」であったものの気合十分で勝ち進み、個人戦・団体戦ともに「準優勝」を獲得した。団体戦は栃木女子選抜チームとして佐々木2曹、第12特科隊の鈴木3曹ほか1名の計3名で戦い、これまでに一番良い成績を残すことができた。このほか、男子個人戦では第12特科隊の隊員2名が年齢別の試合でそれぞれ優勝を獲得し、栃木県勢は大健闘した。

佐々木2曹は栃木地本在籍中の各種大会で14枚の賞状を獲得し、仕事と競技の両立を果たしている。

「競技結果を栃木地本のSNSで紹介される度に、多数の『いいね』を獲得したことも励みになった」と述べた。

栃木地本は「スポーツ競技等においても自衛隊をPRできるような活動したい」として取り組んでいる。



地本で公安系公務員合同職業説明会を開催

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶1陸佐）は2月12日、宇都宮地方合同庁舎において大学生等を対象に栃木県警察本部・宇都宮市消防局と合同で職業説明会を開催した。

この説明会は、3月1日から就職活動が解禁される大学3年生等を対象に、公安系公務員に理解を深めて頂くことを目的として開催しており、今年で2年目となる。

当日は大学生等約30名が参加し、栃木県警察本部・宇都宮市消防局・防衛省自衛隊の順で、仕事の多様性ややりがい、仕事と私生活の両立や福利厚生などを説明し、それぞれの職業の魅力やPRした。会場では参加者がメモを取りながら熱心に聴き入る姿も見られた。

質疑応答の場面では「大学で救急救命士について学んでいるが、どういった感じで活用出来るか」「希望の職務内容についてはどうすればよいか」「災害等で緊急に募集される回数は年にどの程度か」「女性が働きやすい職場か」といった質問が相次ぎ、説明会の予定時間を30分以上オーバーするなど盛り上がりを見せた。

参加した大学生等からは「公安系に対するイメージがガラリと変わった。体力勝負のイメージがあったが色々なポジションの仕事があり、どの団体でも自身の適性のある仕事が見つけられそうで安心した」「結婚、出産しても働きたいと考えているので、公安系公務員はもとも魅力に感じていたが、今回直接お話を聞くことが出来て絶対に合格して、一緒に働きたいという思いが強くなった」といった感想が聞かれた。

栃木地本は「今後も自治体との連携を強化し、公安系公務員の魅力やPRしていく」としている。

